

{ 2018年7月登録決定 }



世界文化遺産

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

10

ひ さ か じ ま し ゅ う ら く
久賀島の集落

Villages on Hisaka Island

ガイドマップ

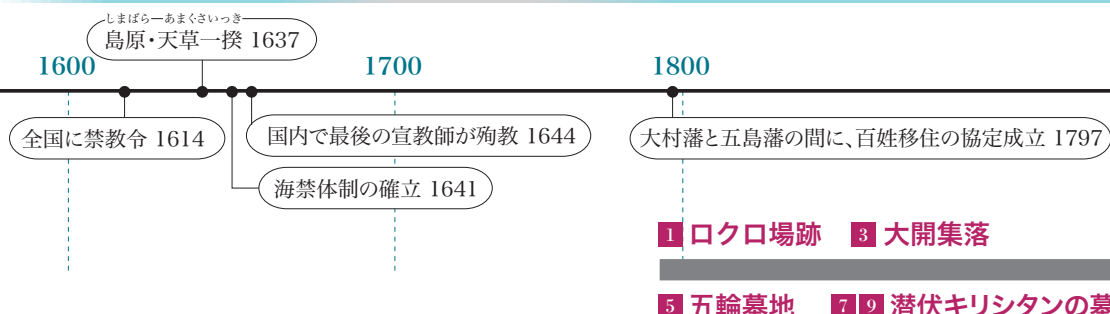


| 久賀島の集落 | の価値

I 宣教師不在と キリシタン「潜伏」のきっかけ

II 潜伏キリシタンが信仰を 実践するための試み

III 潜伏キリシタンが共同体を 維持するための試み



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」全体の価値における位置づけ

◎「久賀島の集落」は、潜伏キリシタンが信仰の共同体を維持するに当たり、どのような場所を移住先として選んだのかを示す4つの集落のうちの一つです。

◎五島藩の政策に従って島の未開発地に開拓移住することによって共同体を維持した集落です。

《基本情報》

文化財の名称	旧五輪教会堂	五島市久賀島の文化的景観
種別	重要文化財	重要文化的景観
指定年	1999年	2011年
所在地	五島市蕨町	五島市

資産内の 見学マナー

資産内では生活が営まれています。住民のプライバシーを考え、マナーを守って散策してください。

- ゴミ箱を設置しておりませんので、ゴミはお持ち帰りください。
- 道路を歩く場合は、広がらず、必ず路側帯を歩いてください。
- 喫煙は所定の場所をお願いします。歩きながらの喫煙やたばこのポイ捨てなどはお止めください。
- 個人の敷地や田畑に入ったり、家の中を覗いたり、無断で戸を開けたりするのは絶対にお止めください。
- トイレは所定の場所をお願いします。

教会堂 見学の 事前連絡

教会行事により見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もありますので、見学を希望される際は、事前に各受付窓口のホームページからご連絡をお願いします。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター
(長崎の教会群インフォメーションセンター)

〒850-0862 長崎市出島町1-1-205(出島ワーフ2階)
TEL.095-823-7650 ◎受付時間 | 9:30~17:30

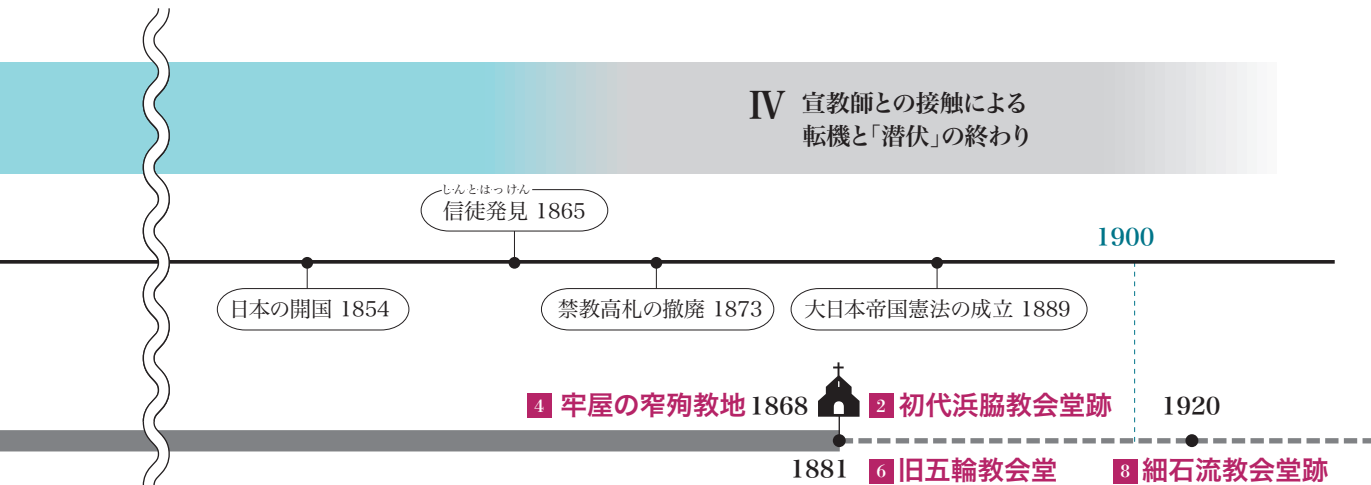
<http://kyoukaigun.jp>

キリシタン遺産 インフォメーション

検索



IV 宣教師との接触による 転機と「潜伏」の終わり



歴 史

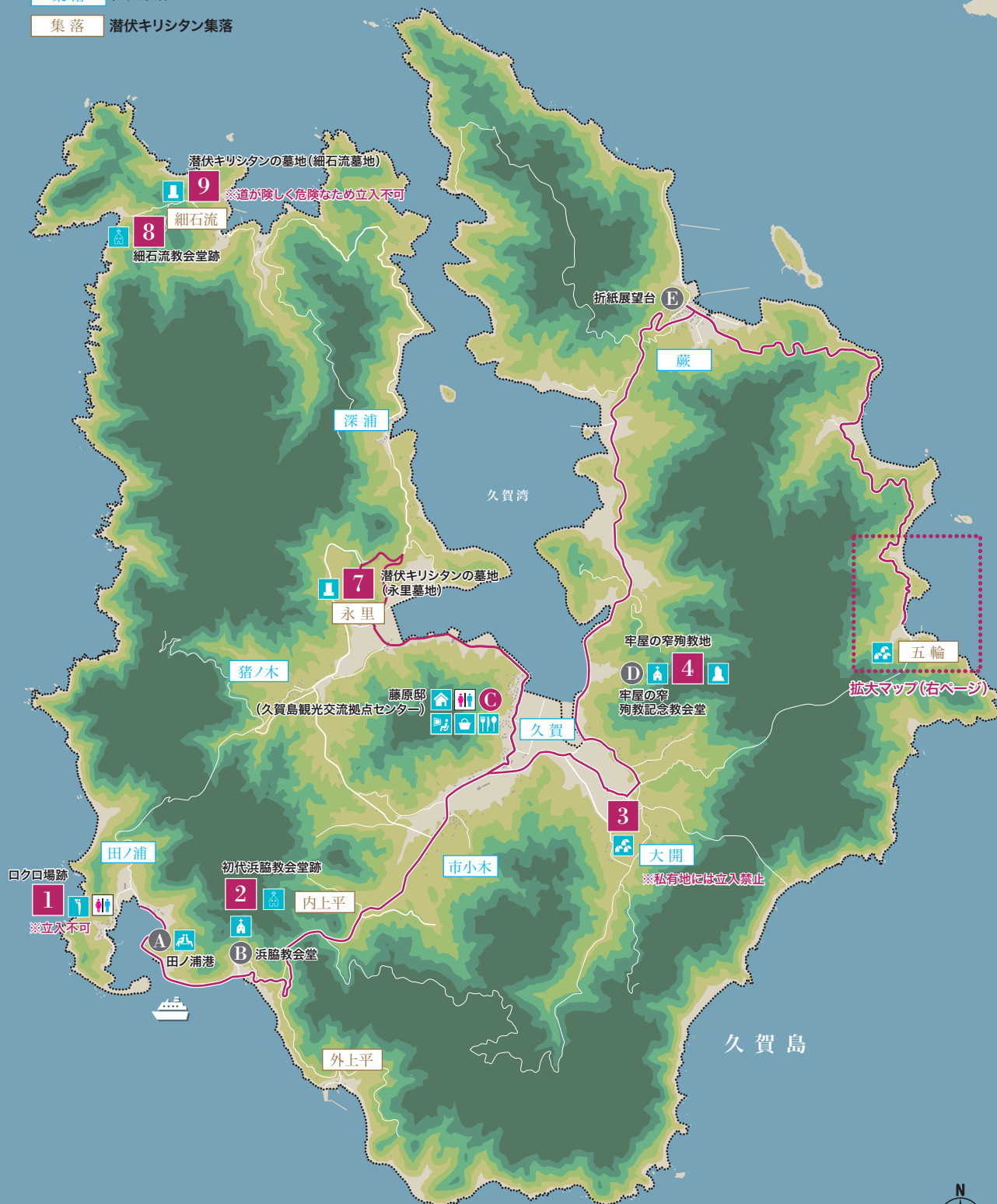
- ◎久賀島は、古くは日本から大陸へ向かう貿易船の寄港地でしたが、17世紀になると五島藩に組み込まれました。
- ◎16世紀後半から17世紀初頭にかけて、久賀島にもキリスト教が伝わった可能性もありますが、禁教によりいったん姿を消しました。
- ◎18世紀の久賀島には、仏教集落のみがありましたが、18世紀の終わりになると、五島藩の開拓移民政策にしたがって外海地域から潜伏キリシタンが移住し、新たな集落が形成されました。
- ◎潜伏キリシタンは、既存の仏教集落の縁辺部や隔絶した場所に集落をつくりました。
- ◎潜伏キリシタンの移住先は農業には適さず、自力での開墾は困難だったので、仏教徒の水田の隣に新たな水田を開いたり³、仏教徒が行う農業や漁業に伴う様々な作業を協働で行ったり¹するなど、仏教徒との間に互助関係を築きました。
- ◎このようにして移住先で共同体を維持した久賀島の潜伏キリシタンは、「信徒発見」後に宣教師と接触しました。
- ◎しかし、依然として禁教が続く中で信仰を表明したため、弾圧が加えられ、監禁により多くの死者がでました⁴。
- ◎解禁後、カトリックに復帰した集落には、木造教会堂が建てられました^{2 6 8}。また、禁教期から続く墓地は、カトリックの墓地としても使われました^{5 7 9}。

| 久賀島の集落 | の広域マップ

奈留島

集落 仏教集落

集落 潜伏キリシタン集落



拡大マップ(右ページ)

久賀島

福江島

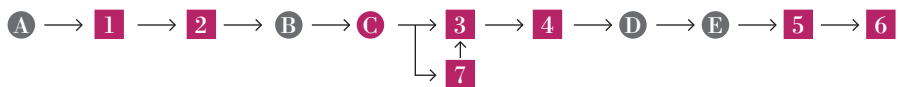


久賀島の集落の拡大マップ

5 五輪集落



《推奨ルート》



-----	構成資産範囲	0 重要ポイント	P 駐車場	 展示	 集落	 墓地、墓碑	 教会堂跡
-----	徒歩で移動	A 情報発信拠点施設	 トイレ	 ショップ	 ビューポイント	 碑(モニュメント)等	
-----	徒歩または 自動車等で移動	A その他のポイント	 休憩所	 飲食	 関連の建物	 教会堂	

久賀島の集落 | の重要ポイント案内

1

ろくろ場跡

※現在は文化財として管理していますので、外観のみ見学可能です。



ロクロ場の参考図（「五島に於ける鯨捕沿革図説」、長崎歴史文化博物館所蔵）漁網を巻き取るロクロ（回転台）を回す様子が描かれている。

①

田ノ浦湾では、キビナゴの地引き網漁が盛んに行なわれていました。移住してきた潜伏キリシタン集落と在来の仏教集落が協働して漁業を行っていたことがわかっています。この場所は、田ノ浦湾の奥に位置し、彼らの協働の様子を示す物証として、網を巻き上げる際に利用した「ロクロ場」が良好に残されています。

2

初代浜脇教会堂跡



浜脇教会堂（1931年以前）

①

解禁後の1881年、島内で最初の教会堂（初代浜脇教会堂）がここに建てられ、彼らの「潜伏」が終わりを迎えました。1931年に隣接地に現在の鉄筋コンクリート造の教会堂が建てられます。その際、初代教会堂は島の東海岸に所在する五輪集落へ移築され、跡地には信徒会館が建てられました（石積みは初代教会堂建設時のもの）。

3

大開集落

※私有地には立ち入らないでください。



①

大開集落は、潜伏キリシタンと仏教徒との開拓により発展した集落です。この地区は、家督相続できなかった男子の島内移住が背景にあり、移住者を受け入れやすい素地がありました。移住してきた潜伏キリシタンは、仏教徒の水田周辺部の谷筋沿いを開拓し、仏教徒と水利の共有を図るなどして生活を営み、信仰をひそかに続けました。

4 ろうや さこじゅんきょうち 牢屋の窄殉教地



①



①

この場所では、「信徒発見」後の1868年、信仰を表明した潜伏キリシタンへの弾圧(牢屋の窄殉教事件)が行なわれました。狭い牢屋敷に約200名が入れられ、厳しい拷問による棄教が迫られ、42名の死者が出ました。このような弾圧に対する欧米諸国の強い抗議もあり、長きにわたる禁教政策が幕を下ろすことになります。

ごりんしゅうらく 五輪集落



五輪集落は、五島藩の開拓移民政策により、外海地域から移住してきた潜伏キリシタンによって形成された集落です。久賀島の他の潜伏キリシタン集落と異なり、在来の仏教集落からは隔絶された場所にあります。

5 ごりんぼち 五輪墓地



①

五輪墓地は、五輪集落のキリシタン墓地です。禁教期から解禁後に至る墓石の形態の変化が見られます。楕円形の礫を積み上げた積石墓が禁教期のもので、解禁後にキリスト教式の墓石である伏碑型に替わっていきまし。下段→上段の順に埋葬されており、下段が禁教期の墓地と考えられます。



①



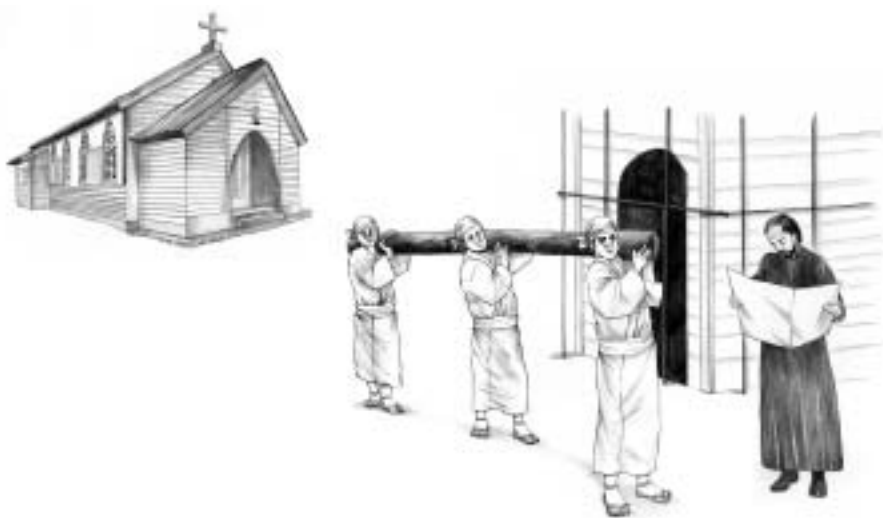
②

旧五輪教会堂は、島内初の教会堂(初代浜脇教会堂)の建替えの際、この集落に移築されたものです。解禁後に島内各地で教会堂が建てられますが、五輪集落では1931年に初代浜脇教会堂を譲り受け現地に解体・移築し、1984年まで使用していました。現在は、文化財建造物として市が所有・管理しています。

教会堂の見学マナー

教会堂は大切な祈りの場ですので、見学マナーを守り、厳粛な雰囲気の中で心静かに過ごしてください。

- 堂内では帽子を脱ぎ、静かに拝観してください。
- 堂内にある物にはふれないでください。
- 柵内、内陣(祭壇域)には入らないでください。
- 堂内での飲食、飲酒、喫煙は厳禁です。



※イラストはイメージです。

7

せんぶく

ぼち えいり ぼち

潜伏キリシタンの墓地(永里墓地)



永里墓地は、永里集落のキリシタン墓地です。

8

ざざれきょうかいどうあと

細石流教会堂跡



①

この場所は、細石流教会堂の跡地です。細石流集落では、解禁後においても立地環境の関係で、すぐには教会堂は建てられませんでした。1920年になって集落を見下ろす山頂付近のこの場所に木造の教会堂が建てられました。1969年に他の教会堂との統廃合により廃堂となり、その後の台風被害等により倒壊しました。

9

せんぶく

ぼち ざざれ ぼち

潜伏キリシタンの墓地(細石流墓地)



①

細石流墓地は、細石流集落のキリシタン墓地で、久賀島の有力な指導者の墓石も残されています。墓地中央の大十字架の刻銘から1884年につくられたと見られます。墓地構成が教会堂内部と類似しているのが特徴で、大十字架の場所が一段高く(祭壇)、周囲に「十字架の道行き」を模した石造物が置かれています。

| 久賀島の集落 | のその他のポイント案内

A たのうらこう 田ノ浦港



久賀島の玄関口である田ノ浦港です。福江島からの定期船が離発着する港としても利用されています。

B はまわきょういどう 浜脇教会堂



①

1881年に建てられた木造の初代浜脇教会堂²は、潮風にさらされて痛みが激しくなり、1931年に台風に備えて堅牢さを求め、五島初の鉄筋コンクリート造の教会堂に建て替えられました。田ノ浦瀬戸を見下ろす浜脇教会堂は、高台にあって山の緑を背景に白くくっきりと浮かび上がり、対岸や遠く船上からもその姿を望むことができ、久賀島のランドマークとなっています。

C ふじわらてい 藤原邸 (久賀島観光交流拠点センター)



①

久賀島における代表的な古民家で、築年代は1880年代末頃と推定されます。旧所有者の藤原家は、久賀島の経済を代表する旧家で、「牢屋の窄殉教事件」の際には、潜伏キリシタンを匿ったり逃がしたりしました。現在は、重要な文化的景観や世界遺産の情報発信拠点並びに観光を中心とした地域振興の交流拠点施設となっています。事前にご予約いただければ、休憩スペースでお食事を楽しむこともできます。

- 所在地／五島市久賀町103・104 Tel:0959-77-2115
- 開館時間／9:00～17:00
- 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
12月29日～1月3日・7～10月は休館日なし
- 入場料金／無料

D ろうや さこじゅんきょうきねんきょうかいどう 牢屋の窄殉教記念教会堂



①

1868年に起こった「牢屋の窄殉教事件」の場所⁴に建てられました。内部は、牢の広さが一目で分かるように床のじゅうたんが色分けされており、当時の状況を雄弁に物語っています。毎年、10月の最終日曜日に、殉教者をたたえ先祖の信仰に倣うため、五島内外の信徒や巡礼者が集まり「牢屋の窄殉教祭」が行われています。

おりがみてんぼうだい
E 折紙展望台



久賀島の北東部に位置する住民手造りの展望台です。2002年に地元の有志が呼びかけ、久賀島を一望できる高台(山頂)に来島者や島民が憩える場所を整備しようと、島民総出で山を開き、道を造り、頂上付近に2ヶ所の展望所を整備しました。2006年には、国土交通大臣表彰の「手づくり郷土(ふるさと)賞 地域活動部門」を受賞しました。



ごりんきょうかいどう
F 五輪教会堂



①

旧五輪教会堂と並び建つ五輪教会堂は、旧五輪教会堂⁶の老朽化により1985年に建てられました。歴史ある旧五輪教会堂を保存し、隣接して建てられたもので、古い教会堂が多い五島内で最も新しい教会堂の一つとなっています。



えいりしゅうらく かののん
永里集落のマリア観音

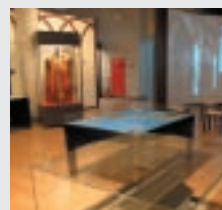
永里集落では潜伏キリシタンの指導者が代々継承した中国製の白磁の観音像をマリアに見立て(マリア観音)、ひそかに祈りをささげました。現在は、堂崎天主堂資料館に所蔵されています。



どうざきてんしゅどうしりょうかん
堂崎天主堂資料館

1907年、パリ外国宣教会のペルー神父によって赤レンガ造りに建て替えられた堂崎天主堂は、現在資料館として使用されています。帳方に受け継がれてきた「お帳」や、ド・ロ神父が宣教に用いた木版画など、禁教期から明治期以降のキリシタン資料が展示されています。

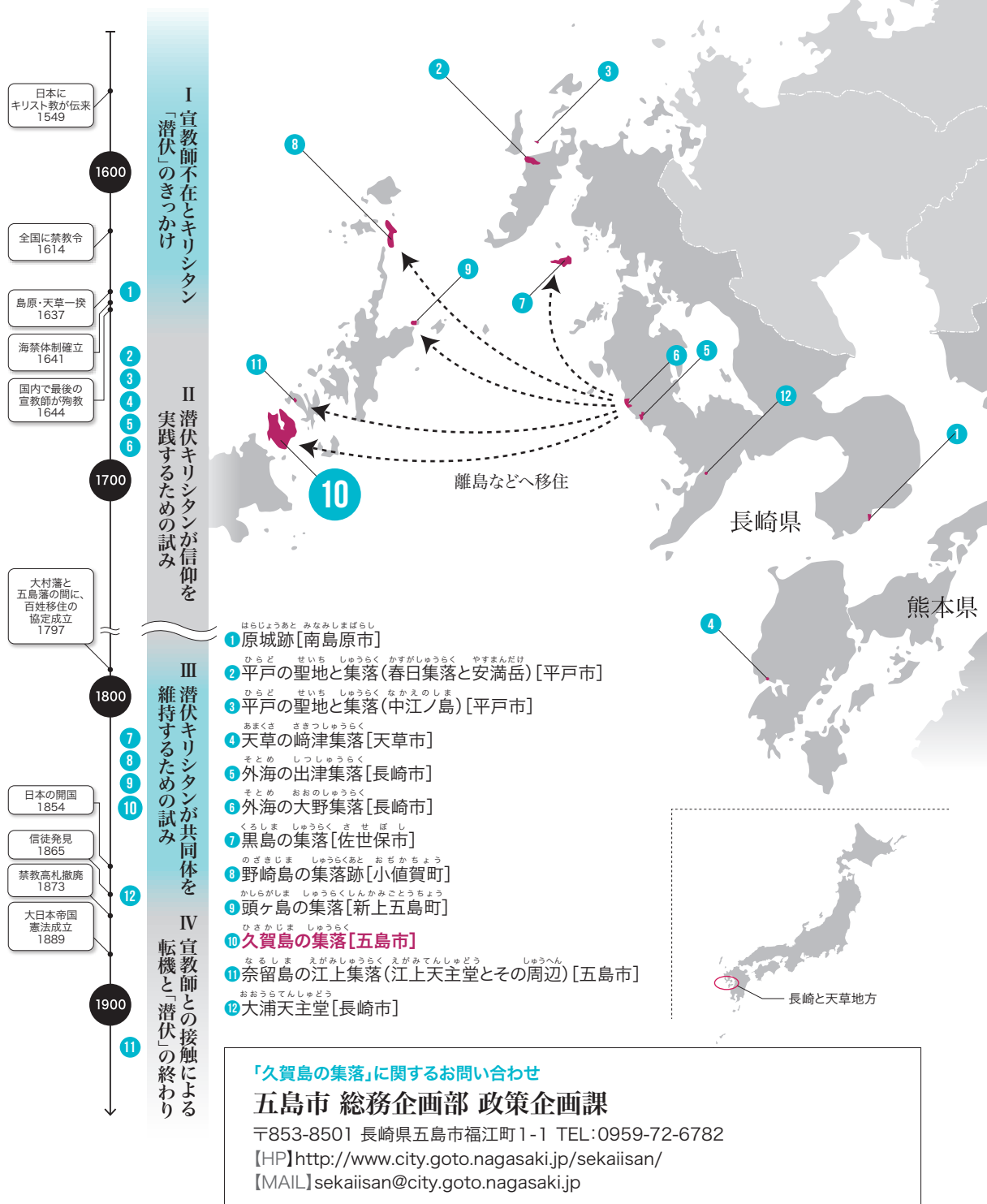
- 所在地／五島市奥浦町2019
Tel:0959-73-0705
 - 開館時間／9:00～17:00
(8/13～15を除く夏休み9:00～18:00、
11/11～3/20は9:00～16:00)
 - 休館日／12/30～1/3
 - 入場料金／大人300円(250円)、
中・高生150円(100円)、
小学生100円(50円)
- ※カッコ内は団体・障がい者料金(大人は150円)



ごとうかん こうれきしりょうかん
五島観光歴史資料館

五島キリシタンの歴史や文化などを実物資料やパネル・模型、映像などでご紹介しています。その他にも、五島の歴史や文化、民俗行事、民具などもご紹介しています。

- 所在地／五島市池田町1-4
Tel:0959-74-2300
 - 開館時間／9:00～17:00
※6月～9月は、9:00～18:00
 - 休館日／12月29日～1月3日
 - 入場料金／一般 大人230円(190円)、
大学・高校生170円(140円)、
中学・小学生110円(90円)
- ※カッコ内は20人以上の団体料金



企画・発行／長崎県、熊本県、長崎市、佐世保市、平戸市、五島市、
南島原市、小値賀町、新上五島町、天草市

潜伏キリシタン遺産 検索 <http://kirishitan.jp>

撮影協力／①池田 勉

2018年7月発行



国際連合教育科学
文化機関



長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産
世界遺産登録年:2018年